2025年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年８月14日

上場会社名	株式会社アールシーコア　上場取引所　東
コード番号	7837　ＵＲＬ　https://www.rccore.co.jp/
代表者	（役職名）代表取締役社長　（氏名）壽松木　康晴
問合せ先責任者	（役職名）事業サポート部責任者　（氏名）岡水　裕次　ＴＥＬ　03-5990-4070

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2025年３月期第１四半期の連結業績（2024年４月１日～2024年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年３月期第１四半期	2,138	△34.4	△256	－	△254	－	△275	－
2024年３月期第１四半期	3,262	4.6	67	－	62	－	2,914	－

（注）包括利益　2025年３月期第１四半期　△262百万円（－%）　2024年３月期第１四半期　2,938百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年３月期第１四半期	△67.57	－
2024年３月期第１四半期	687.24	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年３月期第１四半期	6,641	2,694	40.6	661.76
2024年３月期	7,884	2,969	37.7	724.58

（参考）自己資本　2025年３月期第１四半期　2,694百万円　2024年３月期　2,969百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年３月期	－	0.00	－	0.00	0.00
2025年３月期	－				
2025年３月期（予想）		0.00	－	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2025年３月期の連結業績予想（2024年４月１日～2025年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,600	3.8	70	－	80	－	50	△97.6	12.20

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：有

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年３月期１Ｑ	4,536,400株	2024年３月期	4,536,400株
②　期末自己株式数	2025年３月期１Ｑ	464,170株	2024年３月期	438,770株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2025年３月期１Ｑ	4,075,648株	2024年３月期１Ｑ	4,240,844株

（注）期末自己株式数には、株式給付信託口及び役員株式給付信託口が保有する当社株式（2025年３月期１Ｑ　463,938株）が含まれております。また、株式給付信託口及び役員株式給付信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2025年３月期１Ｑ　460,520株）。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、３ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
（４）継続企業の前提に関する重要事象など …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（会計方針の変更に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9
３．補足情報 …… 10
生産・受注及び販売の実績 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善も見られ、景気回復の兆しが見える状況となりました。欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞など海外景気の下振れリスク及び物価上昇、さらに中東地域情勢や金融資本市場の変動に注視が必要な状況にあります。

住宅市場において、国内の新設住宅着工戸数は、建設コスト増の影響もあり弱含みの状況が続いています。

このような事業環境の下、当社グループでは、創業以来の社長交代を実施し、新たな経営体制に移行しました。新社長のもと、木造戸建住宅事業で生み育ててきたBESSブランドをより外向きに開き、他企業や地方自治体を含め、BESSに対して共感度の高い関係先とともに“こころのオアシス”を創り出す「オアシス業」を推進していきます。それにより、BESSブランドの価値向上を果たすとともに、収益改善に向け、当社の事業領域の拡大を図ります。

当第１四半期連結累計期間における新規来場数は前年同期比101.2％と微増ながら、連結契約（受注）高においては直販住宅事業（前年同期比19.7％増）及びBtoB事業（特建事業、同554.0％増）が伸長し2,790百万円（同20.2％増）となりました。期末契約（受注）残高は7,834百万円と前期末比で10.9％増加しており、引き続き契約（受注）増に向けて、集客・営業の両面で注力していきます。

発売から20周年となる主力商品のワンダーデバイスを大きくリニューアルし、2024年４月に新モデル「NAKED」を発売し、従来品の「フランク」と「ファントム」を合わせて“四角WONDER”、2023年10月に発売した「間貫けのハコ」を“三角WONDER”と称し、豊富なバリエーションを提供していきます。「NAKED」や「間貫けのハコ」については、顧客に見せる場として、今後、モデルハウスやサテライト棟（展示場外で建設する期間限定のモデルハウス）が続々オープンし販売が本格化していきます。これに合わせ、前年より開始しているオウンドメディアやSNSの質の強化に継続的に取り組むことで発信力を高めて、ブランド認知を拡大し、新たなファン層の獲得につなげていきます。

禁開発事業として昨年締結した長野県小諸市との連携協定は、移住定住促進も含め地方自治体が抱えている様々な社会問題の解決につながる好事例として注目を集めており、今後も自社開発のみにこだわらず、地方自治体や他業者とのタイアップ等の取り組みを強化していきます。また、BtoB事業（特建事業）として、保育園施設やリゾート施設など、木造での非住宅建築の市場開拓を引き続き推進していきます。さらに、2024年4月よりBESSの中古住宅を販売・仲介する「歳時住宅事業」を全国に展開、加えて、サステナブル社会の実現を念頭に、ユーザーが使用しない期間を貸し出す「別荘レンタル事業」もスタートしました。

こうした状況のなか、当社グループの当第１四半期連結累計期間における連結売上高は前年度末における契約残高の不足等により2,138百万円と前年同期比34.4％の減収となりました。また、売上減の影響から256百万円の連結営業損失（前年同期は67百万円の利益）を計上しました。以下、連結経常損失が254百万円（同62百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失が275百万円（同2,914百万円の利益※東京都代官山の資産売却益計上による）となりました。

セグメント別の状況は以下の通りであります。

①　直販部門

連結売上高の33.3％（外部顧客売上高ベース）を占める直販部門は、東京都・代官山の「BESS MAGMA」、東京都・昭島の「BESS多摩」及び神奈川県の「BESS藤沢」の直営３拠点で、東京・神奈川圏を中心とする顧客との直接の工事元請契約によるBESS企画型住宅等の提供を主要事業としております。なお、「BESS MAGMA」は、経営基盤強化策の一環として売却しましたが、2025年３月までは引き続きBESSブランドの発信拠点として営業いたします。

当第１四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は719百万円（前年同期比37.4％減）となり、セグメント利益は32百万円（同82.1％減）となりました。

また、セグメント契約（受注）高はBtoB事業（特建事業）における非住宅建築の市場開拓等により1,262百万円と前年同期比で57.3％増となりました。

②　販社部門

連結売上高の29.6％を占める販社部門は、全国の地区販社に対して、BESSブランドと販売システム等を提供するとともに、BESS企画型住宅の部材キット等を供給する事業を行っております。

当第１四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は、962百万円（前年同期比31.7％減）となり、セグメント利益は59百万円（同57.0％減）となりました。

また、セグメント契約（受注）高は907百万円（同16.2％減）となりました。

③　株式会社BESSパートナーズ（以下、BP社）

連結売上高の37.1％を占める国内連結子会社グループのBP社は、株式会社BESSパートナーズが運営する熊谷（埼玉県）、つくば（茨城県）、富士・浜松（静岡県）、東愛知（愛知県）、糸島（福岡県）、熊本（熊本県）に加え、その連結子会社である株式会社BESS札幌が運営する札幌（北海道）、同じく株式会社BESS岐阜が運営する岐阜（岐阜県）の合計9拠点のBESS LOGWAYによるグループであり、顧客との直接の工事元請契約によるBESS企画型住宅等の提供を主要事業としております。

当第１四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は、820百万円（前年同期比35.0％減）となり、セグメント損失は115百万円（前年同期は37百万円の損失）となりました。セグメント契約（受注）高は、954万円（同19.1％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比で1,242百万円減少の6,641百万円、負債は同968百万円減少の3,947百万円、純資産は同274百万円減少の2,694百万円となりました。それぞれの主な増減要因につきましては、次の通りであります。

総資産につきましては、「現金及び預金」が1,207百万円の減少及び「有形固定資産」が20百万円減少したこと等によります。

負債につきましては、「未払法人税等」が737百万円の減少及び「買掛金及び工事未払金」が104百万円減少、さらに「その他流動負債」が347百万円の減少に対し、「前受金及び未成工事受入金」が199百万円増加したこと等によります。

純資産につきましては、「利益剰余金」が275百万円減少したこと等によります。

その結果、自己資本比率は40.6％となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年３月期の連結業績予想につきましては、2024年５月15日に公表した数値に変更はありません。

（４）継続企業の前提に関する重要事象など

当社は2021年３月期より当第１四半期まで営業損失を計上しておりますが、前項（１）の施策等を講じ、早期に営業損失を解消します。また代官山資産譲渡により自己資本比率は前期において大きく改善しており、現状において、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2024年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,086,043	2,878,846
売掛金及び完成工事未収入金	928,668	913,112
リース債権	11,995	11,995
商品	269,356	253,770
貯蔵品	73,521	76,924
仕掛販売用不動産	251,571	269,815
未成工事支出金	67,174	106,612
その他	288,070	222,743
貸倒引当金	△288,347	△278,008
流動資産合計	5,688,054	4,455,812
固定資産		
有形固定資産		
土地	821,615	821,615
その他	2,275,321	2,245,897
減価償却累計額	△1,975,268	△1,966,154
その他（純額）	300,052	279,742
有形固定資産合計	1,121,668	1,101,358
無形固定資産		
その他	3,742	10,233
無形固定資産合計	3,742	10,233
投資その他の資産		
関係会社株式	20,000	20,000
預託金	352,500	352,500
保険積立金	346,248	351,148
その他	377,287	375,783
貸倒引当金	△25,089	△24,930
投資その他の資産合計	1,070,946	1,074,502
固定資産合計	2,196,357	2,186,094
資産合計	7,884,412	6,641,906

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2024年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （2024年６月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金及び工事未払金	830,602	726,300
１年内返済予定の長期借入金	126,846	123,511
未払法人税等	740,816	3,796
前受金及び未成工事受入金	520,075	719,121
契約負債	120,927	110,204
賞与引当金	38,309	76,351
役員賞与引当金	2,400	3,000
その他	792,459	444,330
流動負債合計	3,172,437	2,206,615
固定負債		
長期借入金	637,271	609,090
契約負債	131,263	135,896
退職給付に係る負債	74,215	74,464
株式給付引当金	29,596	32,353
役員株式給付引当金	116,515	116,515
資産除去債務	186,148	186,317
その他	567,907	585,816
固定負債合計	1,742,918	1,740,454
負債合計	4,915,356	3,947,069
純資産の部		
株主資本		
資本金	671,858	671,858
資本剰余金	730,402	730,402
利益剰余金	1,903,101	1,627,703
自己株式	△383,526	△395,305
株主資本合計	2,921,836	2,634,660
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	47,218	60,177
その他の包括利益累計額合計	47,218	60,177
純資産合計	2,969,055	2,694,837
負債純資産合計	7,884,412	6,641,906

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2023年４月１日 至　2023年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年６月30日）
売上高	3,262,290	2,138,831
売上原価	2,345,162	1,535,689
売上総利益	917,127	603,142
販売費及び一般管理費	849,556	859,812
営業利益又は営業損失（△）	67,571	△256,670
営業外収益		
受取利息及び配当金	654	625
販売協力金	595	753
保険積立金差額	－	3,005
移転補償金	4,045	－
その他	537	1,022
営業外収益合計	5,834	5,407
営業外費用		
支払利息	7,472	2,880
その他	3,932	8
営業外費用合計	11,405	2,888
経常利益又は経常損失（△）	62,000	△254,151
特別利益		
固定資産売却益	4,222,830	2,899
特別利益合計	4,222,830	2,899
特別損失		
固定資産売却損	3,713	－
特別損失合計	3,713	－
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	4,281,117	△251,251
法人税等	1,366,619	24,146
四半期純利益又は四半期純損失（△）	2,914,497	△275,398
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	2,914,497	△275,398

（四半期連結包括利益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2023年４月１日 至　2023年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年６月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	2,914,497	△275,398
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	24,050	12,958
その他の包括利益合計	24,050	12,958
四半期包括利益	2,938,548	△262,439
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,938,548	△262,439

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号　2022年10月28日）等を当第１四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第１四半期連結累計期間（自　2023年４月１日　至　2023年６月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 （注）１	四半期連結損益計算書計上額 （注）２
	直販部門	販社部門	ＢＰ社	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,139,209	887,350	1,235,730	3,262,290	－	3,262,290
セグメント間の内部売上高又は振替高	10,500	522,024	27,676	560,201	△560,201	－
計	1,149,710	1,409,375	1,263,406	3,822,492	△560,201	3,262,290
セグメント利益又は損失（△）	183,556	138,647	△37,702	284,501	△216,930	67,571

（注）１　セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引の消去49,394千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△266,325千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

２　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第１四半期連結累計期間（自　2024年４月１日　至　2024年６月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 （注）１	四半期連結損益計算書計上額 （注）２
	直販部門	販社部門	ＢＰ社	計		
売上高						
外部顧客への売上高	713,145	632,047	793,638	2,138,831	－	2,138,831
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,684	330,718	27,021	364,424	△364,424	－
計	719,830	962,765	820,659	2,503,255	△364,424	2,138,831
セグメント利益又は損失（△）	32,783	59,596	△115,137	△22,757	△233,912	△256,670

（注）１　セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引の消去△15,065千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△218,847千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

２　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次の通りであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2023年４月１日 至　2023年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年６月30日）
減価償却費	21,245千円	15,065千円

３．補足情報

生産・受注及び販売の実績

①　生産実績

当社グループが営む事業では、生産実績を定義することが困難であるため、記載しておりません。

②　受注実績及び販売実績

前第１四半期連結累計期間(自　2023年４月１日　至　2023年６月30日)　（単位：百万円）

セグメント区分	品目名称	前連結会計年度繰越高	当第１四半期連結累計期間契約高	計	当第１四半期連結累計期間販売高	次期繰越高		当第１四半期連結累計期間施工高
						契約残高	うち施工高	
直販部門	ログハウス等部材キット販売	110	74	185	13	171	－	－
	ログハウス等工事	3,434	726	4,160	1,080	3,080	86	983
	その他	0	2	3	44	－	－	－
	（小計）	3,546	802	4,348	1,139	3,251	86	983
販社部門	ログハウス等部材キット販売	1,546	764	2,310	801	1,508	－	－
	その他	－	－	－	85	－	－	－
	（小計）	1,546	764	2,310	887	1,508	－	－
ＢＰ社	ログハウス等部材キット販売	2	30	33	4	28	－	－
	ログハウス等工事	3,564	722	4,287	1,230	3,057	25	1,222
	その他	－	－	－	0	－	－	－
	（小計）	3,567	753	4,320	1,235	3,085	25	1,222
合計		8,659	2,320	10,979	3,262	7,845	112	2,206

（注）１　前連結会計年度以前に契約したもので、契約の更改等により金額に変更のあるものについては、当期契約高に含めております。

２　次期繰越高のうち施工高については、未成工事支出金により手持工事の施工高を推定したものであります。

３　「ログハウス等工事」の施工高は（売上高＋次期繰越施工高－前期繰越施工高）に一致しております。

４　各部門の「その他」（販促物販売収入等）は、契約高の繰越管理を行っておりませんので、「前期繰越高」「当期契約高」及び「次期繰越高」の欄の記載は行っておりません。

当第１四半期連結累計期間(自　2024年４月１日　至　2024年６月30日）　（単位：百万円）

セグメント区分	品目名称	前連結会計年度繰越高	当第１四半期連結累計期間契約高	計	当第１四半期連結累計期間販売高	次期繰越高		当第１四半期連結累計期間施工高
						契約残高	うち施工高	
直販部門	ログハウス等部材キット販売	38	68	106	31	75	－	－
	ログハウス等工事	2,553	1,191	3,745	639	3,105	128	691
	その他	－	2	2	42	－	－	－
	（小計）	2,591	1,262	3,854	713	3,180	128	691
販社部門	ログハウス等部材キット販売	1,404	629	2,034	554	1,479	－	－
	その他	－	－	－	77	－	－	－
	（小計）	1,404	629	2,034	632	1,479	－	－
ＢＰ社	ログハウス等部材キット販売	2	11	14	7	6	－	－
	ログハウス等工事	3,063	886	3,950	782	3,167	14	784
	その他	－	－	－	3	－	－	－
	（小計）	3,066	897	3,964	793	3,173	14	784
合計		7,062	2,790	9,852	2,138	7,834	143	1,475

（注）１　前連結会計年度以前に契約したもので、契約の更改等により金額に変更のあるものについては、当期契約高に含めております。

２　次期繰越高のうち施工高については、未成工事支出金により手持工事の施工高を推定したものであります。

３　「ログハウス等工事」の施工高は（売上高＋次期繰越施工高－前期繰越施工高）に一致しております。

４　各部門の「その他」（販促物販売収入等）は、契約高の繰越管理を行っておりませんので、「前期繰越高」「当期契約高」及び「次期繰越高」の欄の記載は行っておりません。